

高レベル 放射性廃棄物って？

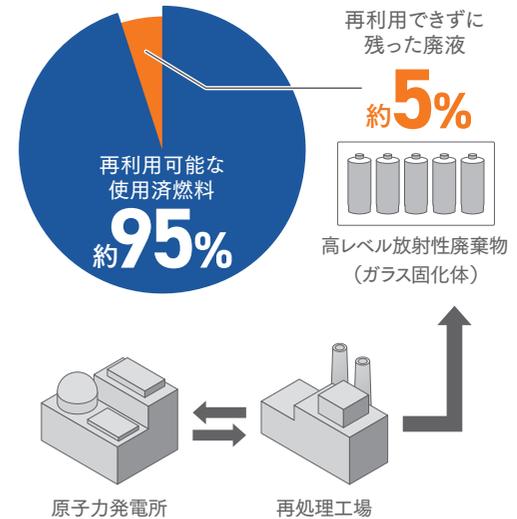
地層処分

これまでの原子力発電の利用で生まれた「高レベル放射性廃棄物」。各国が自国内で「地層処分」することが、国際的な共通認識です。処分地選定を先送りせず、社会全体で考える必要があります。

私たちの暮らしと

「高レベル放射性廃棄物」のつながり

原子力発電で生じた使用済燃料は、約95%が再利用可能なものです。再利用できない残り約5%の廃液をガラスと混ぜて「ガラス固化体」にします。これが「高レベル



放射性廃棄物」です。日本では現在、「ガラス固化体」に換算して約27,000本分*の廃棄物が存在しています。私たちが日常生活で使用する電気の一部は、原子力発電によるもの。つまり、「高レベル放射性廃棄物」は私たちの暮らしに関わるエネルギーから生まれています。

みんなで考えたい、「地層処分」のこと

電気を使う私たちにとって、廃棄物の処分「地層処分」は一緒に考える必要のある大切なテーマです。NUMOでは、「地層処分」について全国各地で皆さまと共に考える機会を設け、対話を重ねています。ぜひ皆さま一人ひとりのご意見をお聞かせください。

※2025年3月末時点

日本中で考えよう。地層処分のこと。

